



小渋ダム通信

Vol. 5



小渋ダム

(緑が眩しい小渋ダム 西側上空からダム湖と南アルプスを望む)

目次

平成17年度事務所事業概要……………2

事業の紹介【水環境改善による流れの復活】……………3

こんな人知ってる?【村松 理兵衛】……………5

一口メモ【第3話「風と潮」】……………7

ダムの施設【ダム放流警報装置】……………3

近隣市町村等紹介コーナー【長野県企業局】……………4

近隣の美術 館・博物館巡り【椋 鳩十記念館・図書館】……………6

読者アンケートより……………8

国土交通省 中部地方整備局
天竜川ダム統合管理事務所



平成 17 年度天竜川ダム統合管理事務所事業概要

小渋ダム、美和ダムでは洪水調節機能が十分発揮されるよう、両ダムの貯水池の堆砂、水質等の調査、流木処理、堆砂掘削等の対策を実施しており、本年度も継続して万全なダム管理に努めてまいります。

平成 17 年度の主な実施事業は以下のとおりです。

○ 施設管理整備

小渋ダムの貯水池堆砂対策の進行に伴う機能の低下及び有効貯水容量の減少によるダムの機能低下に対処するため、土砂バイパストンネルの設置等の事業を継続します。今年度は、第3貯砂堰工事の継続、環境調査、トンネルの水理模型実験等を行います。また、美和ダムでは、三峰川総合開発工事事務所が施工している洪水バイパストンネルの完成に伴う試験的な流水の管理を行います。

○ 水源地域ビジョン

昨年度に協議会を設立した「小渋ダム水源地域ビジョン」(ダムを活用していただく地域活性化のビジョン)を策定するための取りまとめを行います。

○ 耐震対策としての庁舎の建て替え

耐震基準の見直しによる抜本的な対策として庁舎の建て替えを行います。
今年度は、操作棟、反射板設置等の工事を行います。

○ 水環境改善事業

小渋ダム下流河道の無水区間を解消するために引き続き流水確保に努めます。

○ ダム湖活用環境整備事業

地域に開かれたダム整備計画の美和湖、高遠湖の自然環境の保全活用のため、ダム湖活用整備事業を新たに着手します。今年度は、小渋親水公園及び高遠湖の遊歩道を施工します。

平成 17 年度事業費

(単位：千円)

費目	区分	平成 16 年度	平成 17 年度	対前年度比(%)
直轄堰堤維持費	天竜川ダム統管	1 2 1 , 1 9 9	9 8 , 0 0 0	0 . 8 1
	美和ダム	4 0 5 , 0 0 0	4 2 0 , 5 8 0	1 . 0 4
	小渋ダム	5 8 7 , 4 7 6	6 2 1 , 8 2 7	1 . 0 6
直轄堰堤改良事業費	堰堤改良小渋	1 2 7 , 0 0 0	2 4 4 , 7 4 1	1 . 9 3
直轄総合水系環境整備事業費	環境整備美和	0	1 0 8 , 3 0 0	新規事業
合 計		1 , 2 4 0 , 6 7 5	1 , 4 9 3 , 4 4 8	1 . 2 0

一般展示コーナーより

小渋ダムインフォメーションセンターには、一般展示コーナーを設置し、皆様の絵画や写真等を展示しております。

・設置から平成 17 年 3 月までの展示は下記のとおりです。

(展示期間)	(展示内容)	(提供者)
平成16年7月31日～9月26日	五月鱒魚拓と五月鱒剥製	小渋釣人
9月27日～10月3日	フルーツの里 松川(観光案内図)	松川町観光協会(松川町)
10月4日～10月31日	アレチウリ退治(写真)	市民団体天竜川ゆめ会議(駒ヶ根市)
11月1日～11月15日	小渋川今昔(写真)	市民団体天竜川ゆめ会議(駒ヶ根市)
11月16日～11月30日	大鹿歌舞伎(写真)	大鹿歌舞伎保存会(大鹿村)
12月1日～1月31日	小渋川流域の四季(写真)	写真家 佐藤信一(松川町)
平成17年2月1日～3月2日	小渋ダムについての調査	大鹿村立大鹿中学校(大鹿村)
3月3日～3月21日	映画「掘るまいか」の上映の報告	がんばれ山古志掘るまいか伊那谷上映委員会

・現在、以下の展示を行っております。是非、ご覧ください。

(展示期間)	(展示内容)	(提供者)
平成16年 3月22日～ 12月10日～	川に親しむ子供たち(写真)	市民団体天竜川ゆめ会議(駒ヶ根市)
平成17年 4月1日～	日本一小さいシクラメン	花卉栽培農家 森下茂生(松川町)
<常設展示物>	刺繍小渋ダム	塩沢勝(飯島町)
平成16年 7月31日～	(展示内容)	(提供者)
10月5日～	「小渋錦秋」	故仲村進画伯(飯田市)
	3D・アート(小渋ダム)	伊藤允子女史(中川村)



事業の紹介

水環境改善による流れの復活

小渋川においては、中部電力の生田取水堰から下流の小渋ダム貯水池(1.7km)までの間とダム直下流から天竜川合流点(5.1km)までの間、合計約6.8kmの区間は流れのない無水区間となっていました。

この区間は、川の流れを占有して利用するためには、その利用者に「水利権」が付与されますが、この水利権には「優先劣後」という原則があり、先に水利権を得たものが優先して水を利用できるからなのです。例えば、生田取水堰が得ている許可権量は毎秒 14.0 m³/s ですので、この水量までは常に優先して取水できるという考え方です。現在の社会状況の下では発電水量ならば若干の融通はあっても、これが上水道や灌漑用水となれば、許可された量によって生活や生産の場が成り立っているのです、そう簡単に水量を変えることはできませんね。

しかし、無水区間は河道を移動する水棲生物にとってはその生存環境が脅かされ、水の流れない河床は石ころだらけで殺伐として、川の本来持つ豊かさや安らぎからは遠いものとなっています。そこで、水利権の更新時に中部電力の理解を得て、水利権許可量の 14 m³/s 以下の時



流れの細い河床 (H9年)



流れの戻った同地点(H14年)

にも、生田取水堰から下流の小渋川へ 0.7 m³/s 水を流すことにしました。

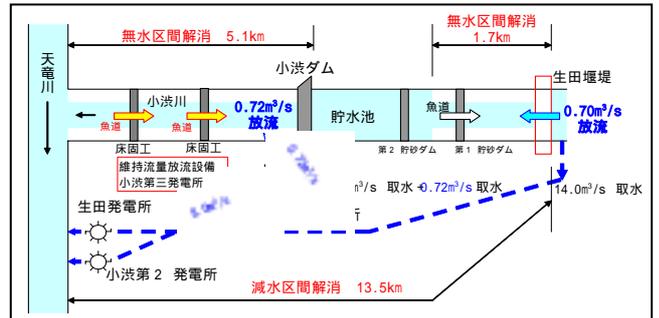
小渋ダムからは、生田取水堰下流の残流域からの流出量も合わせて 0.72 m³/s の水を流すことにしました。その結果ダム下流にも流れが戻り、従前に比べれば、川らしくなってきました。また、ダム下流区間における魚類の生息種を放流前後で比較すると、確認できた種や捕捉された個体数が若干増えました。

流量の確保とともに、途中に設置されている横断構造物の改良も必要で、ダム上流では第一貯砂ダムに、下流では2基の床固工に魚道を設置し、魚にとって登り下りのしやすい優しい川づくりに取り組んでいます。また、ダムからの放流水



維持用水の放流(小渋第3発電所)

は、ダム直下に小規模発電所(小渋第3発電所:出力 550kw)をつくり水資源の有効利用を図っています。なお、この事業は、平成11年度の工事完成から5年を経過したので、中部地方ダム等管理フォローアップ委員会で事業評価がなされ、さらに、平成17年2月15日に、第三者によって構成される事業評価監視委員会において、その有効性の報告をしているところです。



ダムの施設

ダム放流警報装置

ダム下流には、洪水調節や貯水池管理のために、湖水の放流が行われることがあります。ダムからの放流は天候を問わず行われることがありますので、沿川住民に衆知徹底するために、下流河道沿川の各所に警報装置が設置されています。放流の開始時点や放流水の急激な上昇時にその内容を音声で知らせるとともに、サイレンを鳴らして警報します。これは、ダムを操作することによって流水の状況に著しい変化を生ずると認められる場合において、これによって生ずる危害を防止するため必要と認められるときに法令の規程により設置するものです。

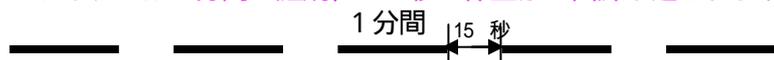
(参考)「危害防止のための設置」(河川法第48条、政令第31条、省令第26条、特定多目的ダム法第32条、同施行令第18条) 関係自治体(県、市町村等) 関係警察署長への通知 立札による掲示 サイレン、警鐘、拡声機等による警告



警報装置には、スピーカーとサイレン、それに場所によっては電光板が設置されています。川の近くや川に入っている人たちは洪水時のみならず平常時も、この警報内容に十分注意して、安全な河川利用に心がけてください。サイレンが鳴れば河川の水位が上昇しますので、川から速やかに上がってください。

<サイレンのならし方>

「サイレンは1分間の継続、15秒の休止が5回繰り返されます。」





このコーナーでは、小渋ダム近隣自治体の首長より色々なお話を伺っております。今回 Vol. 5 では、その一環として、長野県企業局公営事業、特に電気事業の現状等について、長野県企業局南信発電管理事務所長の小池正基氏にお話を伺いました。

野村：小渋ダム・美和ダムの管理ではお世話になっております。まず、長野県企業局の歴史と現状をお伺いします。

小池：長野県の公営企業は、県政の一翼を担い、県民福祉の増進に資するため、昭和33年の電気事業で発足し、現在は、電気事業、ガス事業、水道事業において、必要なサービスの提供を行う一方、地域経済への貢献を果たしています。

電気事業は、昭和33年、治水、かんがい、発電を目的とした「三峰川総合開発事業」(旧建設省との共同事業)の一環として美和、春近発電所の建設から発足し、現在、14発電所と関連3ダムの設備を有し、総出力は9万9,050キロワットの発電規模となっています。また、発電した電力は中部電力(株)を通じて県内の工場や家庭に供給しています。このことは水資源の積極的活用という面のほか、治水、かんがい、上水道事業等と協調しての様々な地域貢献や、河川の流量調整、二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとしての地球温暖化対策に繋がる環境改善にも大きな貢献をしています。

野村：小渋ダム下の小渋第1発電所から第3発電所も県の電気事業によるものですね。また、小渋湖にそそぐ四徳川に四徳発電所もありますね。南信発電管理事務所の管内状況はどうなのでしょう。

小池：日本でも有数の急流河川である天竜川水系は、短い距離で発電に必要な落差が得られる有利な条件を備えているため、多くの水力発電所が造られています。当所では10発電所と高速ダムの管理を行っており、その発電最大出力は7万2,550キロワットで、平成15年度の実績では、約3億3,700キロワットアワーの発電を行ったところ。もう少し分かりやすく申し上げれば、これは一般家庭での消費では約9万3千世帯に年間供給が可能な発電量で、上伊那、下伊那の12万世帯のおよそ80%に当たるといえるものです。

私どもの電気事業は、こうしたことから伊那谷の重要な電源拠点としての役割を担っていると思います。

野村：地域に大変に貢献していらっしゃるわけですね。

ところで企業局の民営化という話も聞きますが、その点はどのようなのでしょうか。

小池：近年、地方公営企業を取りまく情勢は、官民の役割分担の見直し、規制緩和の進展など大きく変化しており、その経営環境は厳しさが増大しています。そうした中、長野県企業局では民営化検討委員会の提言を受けて、平成15年12月に「民営化計画」を策定しました。この計画に基づき、ガス事業は平成17年4月に民営化されますし、水道事業も関係市町への移管の方向で協議していくこととなっています。電気事業については、民間電力会社のスケールメリットを生かした発電所の効率的な運用、顧客サービスの向上、企業債償還リスクの排除などの観点から、平成22年4月までの間に発電所及び附帯設備を民間電力会社に一括譲渡する計画となっています。

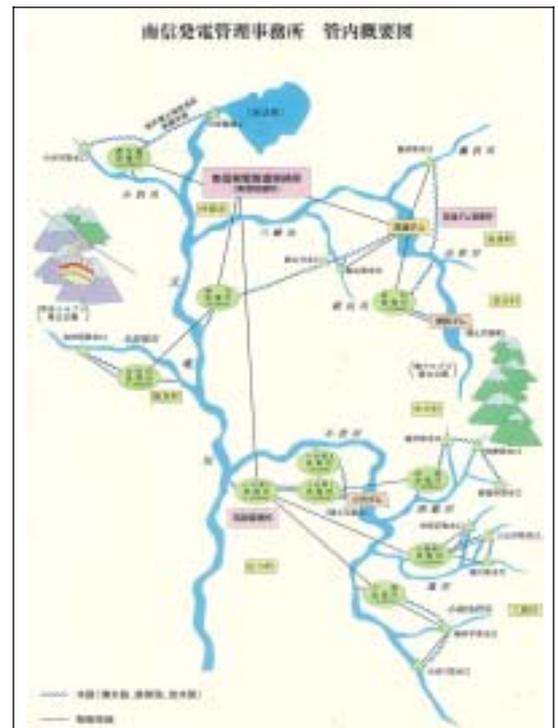
なお、譲渡に際しては、河川総合開発への発電参加による地域との関わりを、承継することとしています。

野村：これから5年間に渡る間に推進される計画ということですね。県が公表された資料にも書いてありますが、公営企業は、元来、事業毎の独立採算が前提であり、経営の複合化や付加価値を付ける事業拡大を図っていくことが制限されている状況の中では、大変なことですね。また、県民負担の回避や昨今注目されているアウトソーシングなどの課題も解決して行かなければならない課題ですね。ご苦勞なことはと思いますが、今後も当ダムの流量管理における発電の位置づけは変わりありませんので、情報の交換等を宜しくお願いします。貴重な話を頂き、どうもありがとうございました。



野村所長

小池所長





～ 天竜川の巨石積護岸 ～

天竜川の河口から 164.3km 右岸の、中川村田島地先で天竜川に架かる天の中川橋の右岸に巨石積の護岸を見ることが出来ます。これが今に残る理兵衛堤防の一部です。



巨石の空石積の理兵衛堤防(H16.12)

天竜川沿岸の人々は、天竜川がひとたび荒れ狂うと、激流になす術もなく翻弄され、精魂こめて造った田畑は流され時には尊い人命を失うこともありました。そこで沿川住民は少しでも強固な堤防を築く努力を長い年月をかけ積み重ねてきました。その様な長い歴史の中で築かれてきた代表的な堤防のひとつが「理兵衛堤防」です。

中川村片桐田島は、前沢川が天竜川に合流し、河岸段丘に田切地形を作り出している地域ですが、前沢川合流点下流の天竜川沿いは天竜川の氾濫原となり沖積平野が広がっています。

「理兵衛堤防」は、天竜川沿いの氾濫原田島一帯を救うため、村松家の理兵衛忠欣(ただよし)その子同常邑(つねむら)孫同忠良(ただよし)と続く三代で、天竜川沿岸に築かれた長さ

100 間(180m)の大規模な堤防です。三代で 37 年間(安永元年～文化 5 年(1802～1808)の歳と莫大な私財を投じて、田島の農民の生活と 1000 石の耕地を確保したのです。

松村家は、忠嗣(ただつぐ)(松村家の 3 代目)の代に前沢村新井(現中川村田島)の地に移り住み、村松一平忠嗣と名乗っていました。忠嗣は、当時の伊那郡を支配していた京極修理大夫高知より、日頃の功を褒められ、修理大夫の「理」をもらい、これ以降、松村理兵衛と改め、代々この名を襲名しました。

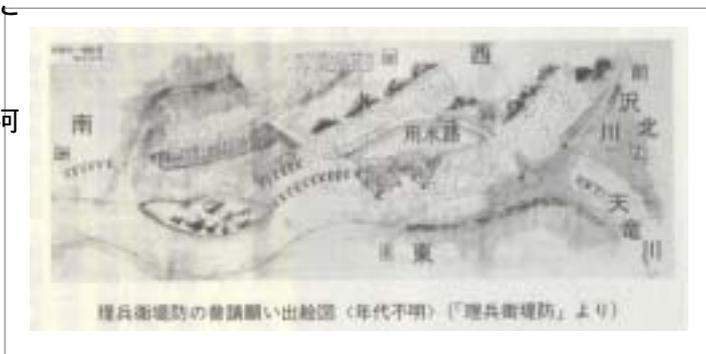
堤防の形状は、「一の芻(はね)」「二の芻」「三の芻」(「出」とも言われ、古くから行われた水制工法の一つ)を張り出し前沢川の水勢も利用して、天竜川の流水が葛島村対岸の方へ向くように設置されていました。この堤防は霞堤ではないが不連続であり、先端の芻は石積みになっていました。(図参照語り継ぐ天竜川、理兵衛堤防より)

芻は、昭和 24 年(1949)頃から昭和 28 年にかけての天竜川改修の際に撤去されましたが、護岸の一部は橋の袂に残りました。

その後、昭和 58 年 9 月 28 日の洪水の際に、河岸が洗掘されて理兵衛堤防の一部が現われて、下流側から引き堤改修が進められ現在の姿になっています。

手元に昭和 54 年当時の写真がありますので、これを見ますと、忠欣に贈られた神号の「天竜功業義公明神」の碑や九竜神等の碑が堤防沿いの杜の中に残っていましたが、これらの碑や杜は改修事業によって移設され、現在は堤内地の公園の一角に移設されています。

天竜川には理兵衛堤防のほかにも、惣兵衛堤防、伴野堤防などがありましたが、昭和 36 年 6 月洪水で流失して昔の面影を残しているのはこの理兵衛堤防だけです。先人の苦勞と偉大さが残すものとして、皆さんも一度出かけて確認してみても如何でしょうか。



理兵衛堤防の會請願い出繪圖(年代不明)「理兵衛堤防」より



昭和 54 年当時の杜



昭和 54 年当時の当該地



現在の碑群

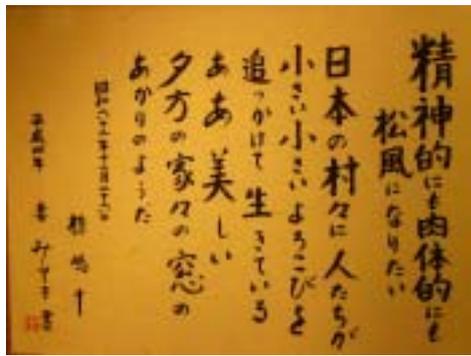


椋鳩十（本名：久保田彦穂）は、明治38年（1905）に喬木村阿島生まれ、飯田中学（現飯田高校）、法政大学を卒業して、鹿児島県の教員になり昭和22年（1947）には同県の県立図書館長になっています。児童文学、動物文学等の著書を執筆しながら「母と子の読書運動」など図書館普及や文化活動に取り組み、大きな貢献を残して昭和62年（1987）に82歳の生涯を閉じました。生まれた喬木村や伊那谷をこよなく愛し、この地を素材とする作品を多く執筆しています。

椋鳩十記念館・図書館は旧喬木村小川小学校の跡地の一角にあります。旧校門の石柱がありその奥左手に洒落た民家風の鉄筋コンクリート2階建て建物がそれです。建物全体が記念館ですが、建物内は鳩十記念館、図書館、村民ギャラリーとなっています。



椋鳩十記念館・図書館（喬木村）



記念館は、鳩十の児童文学、動物文学等に関わる幅広い資料や研究成果、生誕からの生涯年譜、業績などに関わる資料とともに、書画・写真等の作品が展示されており、しかも生前の講演時の映像や文学作品のアニメ映像などが用意されています。鳩十の生涯や人柄を静かな雰囲気の中で感じ取ることが出来ます。臨終の「絶句」となった詩が夫人の手による書となって額に入れて飾られています。この詩一遍でも鳩十の生涯や人柄が偲ばれます。

また、現在生前に使われていた書斎の復元工事が進められており、出来上がると執筆時の様子が窺い知ることが出来るようになるでしょう。

記念館の廊下を挟んで隣は記念図書館となっています。小規模な図書館ですが、その一角には「椋鳩十文学コーナー」が設けられており、彼による作品の全てが集められ、閲覧できるようになっています。



記念館内部



図書館内の椋鳩十コーナー

この記念館から生家・墓地に続く小道が「椋鳩十ふれ愛散策路」として整備されています。「メルヘン散歩道」「夕やけ色のさよなら」「片耳の大鹿」「大造じいさんとガン」などと代表作品から引用された名称が付けられ、沿道には文学の道に入るきっかけとなった「ハイジ」や「遠花火」の歌碑等が設置されています。段丘上から天竜川にかける小道で、阿島の大藤などもあります。四季折々、記念館とともにゆっくりと訪れ鳩十の人柄に触れ、伊那谷の景観を堪能しては如何でしょうか。

所在地：喬木村 1459 番地の 2
電話：0265-33-4569





風速

皆さんは風が吹いているとき、どちらから吹いていると感じていますか。当然、自分に向かって吹いて来る方向ですね。風向はこの常識に従った方向表現で、自分に向かって吹いてくる方向を方位で表します。自分の位置がどこにあるとも、風は気圧の高いところから低い所に向かって流れていくので、自分をいる位置を中心に考えればよいのです。

わが国はモンスーン地帯に属しますので、大きく見れば夏の気圧配置は東高西低で南よりの風が、冬の典型的な気圧配置は西高東低ですので、大陸の高気圧の発達に伴い北から強い風が吹き、しばしば日本海で供給される水蒸気とともに筋状の雲が来て、日本海沿岸に豪雪をもたらします。このように太平洋沿岸の岬や日本アルプス等の高山では強い風の吹く方向が偏っていますので、枝が一方方向のみに伸びている木を良く見かけることがあります。卓越する風の方向を知ることができますね。



風向・風速計



枝が一方方向のみに伸びた旗樹

風速や風向は風の中に立つと実感できるように常に変動しています。この変動する風向や風速は風向風速計で計測され、毎正時前10分間の平均値をもって表現されます。この間の最大値を最大風速と言います。さらに台風時などには瞬間最大風速という言葉も使われますが、これは言葉の通り、瞬間的な最大値です。平均風速の1.5倍から2.0倍ほどになると言われています。

季節の風を表す言葉に、「春一番」とか「木枯らし1号」があります。春一番は冬から春に向かう立春から春分に向かう頃に南から吹いてくる暖かい風です。伊那谷では、厳しい冬から春への兆しでありホットしますが、山岳地帯ではしばしば雪崩に見舞われることがありますので注意が必要です。木枯らし1号は晩秋の10月末から11月いっぱい吹く風のことを言います。厳しい冬に向かう北からの冷たい風で冬支度に向かう心をせかせかせますが、空風で特産の干し柿（市田柿）の乾燥には欠かせない風ですね。

潮流と海流

海の流れには海流と潮流があります。海流には暖流や寒流の流れで潮流は一日に2回起こる潮汐変動による流れです。風向は自分に向かって吹いてくる方向で示されますが、海流や潮流は、流れていく方向で表されます。

我が国の近海は暖流の黒潮と寒流の親潮とが接する所にありますので、西南日本では南からの海流が、東北日本では北からの海流となります。オホーツクで生まれた流氷が北海道に流れ着くのは北からの海流に乗ってやってくるからです。

2004年南太平洋の海水の温度が上がり、暖かい海域が日本近くまで押し寄せていたので台風の発達日本近海まで及び、その結果として10個に及ぶ台風が我が国に上陸することになったとも言われています。

また潮流は、太陽・月と地球の自転によって引き起こされる海水面上昇と下降に起因して起こる海水の流れです。毎日2回の変動が起こりますが、湾内や河口ではその方向によって支配され、一日に二回まったく流向が逆になります。潮汐の上下変動は北半球では南に行くほど大きく、季節的には春分の日や秋分の日頃が一番大きくなります。鳴門海峡の渦潮の見学や潮干狩りがこの時期に適しているのは潮の満ち干きが大きいからです。海流や潮流の接するところは潮目と言われ海水の色が変わっていたり、浮遊物が漂っていたりします。魚の集まる場所でもあるそうですよ。そういえば、黒潮と親潮の接する金華山沖はわが国有数の漁場ですね。



鳴戸の渦潮

風向は吹いてくる方向で、水の流れや海の流れは流れていく方向で示されます。すこしややこしいですね。

川の交通安全標識

～ (河川通航標識) (その3) ～

河川空間を適切に利用していくため、船舶等の通航があり、又は見込まれる一級河川又は二級河川等の河川区域において、船舶等の通航に伴う河川管理上の秩序ある河川使用の調整を図るため、河川法第二十八条及び河川法施行令第十六条の二第三項の規定に基づき、船舶等が守るべき通航方法及びその適用区域が定められています。このことを知らせる手段が河川通航標識です。標識には、大きく分類すると、禁止、指示、制限、情報提供、補助の5区分があります。

今回は、制限の通航標識を紹介します。制限の通航標識は4種類あります。

喫水制限



上空高制限



船幅制限



離岸距離制限



...読者アンケートより...

お便りありがとうございました。

Vol. 4の読者アンケートにご協力頂いた方々からのご意見の一部を紹介します。

「ダムへの堆砂が気になります。土砂バイパストンネルの早期完成を願います。」(松川町 43歳 会社員 男性)

「ダム施設の役目がよくわかっておもしろかった。ダム建設時の話も読みたい。」(松川町 13歳 学生 女性)

「こんな人知ってる? 「川村カネトさん」を読み飯田線建設の苦勞が分かりました。」(松川町 51歳 会社員 男性)

「小渋ダムを初めて知りました。今年は小渋ダムに行ってみたいです。」(下諏訪町 58歳 会社員 男性)

Vol. 4のクロスワードパズルクイズの回答は **コ シ ブ ダ ム** でした。
当選者は、景品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

小渋ダムで頑張っています。



寺島 士朗

所属：総務課長
出身：愛知県名古屋
趣味：読書
近況：初めての単身赴任を体験中です。ダムの管理所は2回目（新米の頃に矢作ダムにいました）ですが、全然様子が違います。南アルプス・中央アルプスの山々が近いので、是非とも踏破してみたいと思っています？



佐藤

所属：総務課
出身：長野県上伊那郡中川村
趣味：ハイキング
近況：今年も爽やかな春がやってきました。野に山にハイキングへ活動開始！この地は四季折々の感動が味わえる自然が一杯です。美味しい空気と私の作った料理で職員もお腹が一杯？職員は若い人から年配者？まで、皆さんの健康管理に気を使う毎日です。

編集者のつぶやき

新しい年度がはじまりました。Vol.4のアンケート手紙で頂いたご意見が、編集者の励みになっています。事務所周辺も冬の厳しさが嘘であったように日々雰囲気も変化しています。このVol.5を手にとって頂いている頃には春眠に誘われているかもしれません。梅雨の季節も間近です。出水がないことを祈りつつ次号の準備を始めます。



小渋ダム通信では、みなさんのまわりで起こった面白い情報のほか、ダムについての質問・疑問についても募集しています。メールやお手紙などお待ちしております。



発行・編集 国土交通省中部地方整備局 天竜川ダム統合管理事務所
〒399-3801 長野県上伊那郡中川村大字大草 6884 番地 19
TEL 0265 88 3729 ダム情報 TEL 0265 88 3760
ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/tendamu/>
メールアドレス tendamu@cbr.mlit.go.jp

...皆様のご意見をお聞かせ下さい...

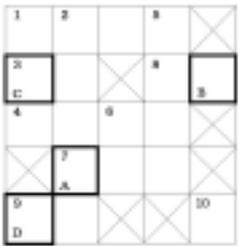
国土交通省中部地方整備局天竜川ダム統合管理事務所にて発行しています「小渋ダム通信」や小渋ダムに関するご意見・ご質問などをお聞かせ下さい。

頂きました貴重なご意見は、今後の事業や広報活動、「小渋ダム通信」の編集等に役立てたいと思います。

回答は、下の「小渋ダム通信 Vol. 5 読者アンケート回答用紙」にご記入の上、切手を貼らずにご投函下さい。

☆クロスワードパズルにご応募を☆

- 抽選で10名様に粗品進呈 -



<たてのカギ>

- 1 水環境改善事業で川の〇〇〇を復活しました
- 2 本日の式典は〇〇〇〇〇 (無事に) 終了!
- 5 春の陽気に誘われて...でも〇〇〇〇は風邪をひきますよ
- 6 〇〇の絡まるチャペルで♪♪
- 10 世界に広げよう友達の〇

<よこのカギ>

- 1 健康食品。ねばって糸引く〇〇〇〇は Good
- 3 4〇〇は、新しい年度のスタートです!
- 4 ボート等の競技会 → 〇〇〇〇
- 7 アブラナの種から取った〇〇〇 油
- 8 楽天vs ソフトバンク → 鷲 vs 〇〇
- 9 赤ちゃんの夜泣き。むしが〇〇



裏面下の読者アンケート回答用紙にお答え下さい。(〆切 2005.6.30)

お便りお待ちしております。

天竜川ダム統合管理事務所ホームページ
URL : <http://www.cbr.mlit.go.jp/tendamu/>
e-mail : tendamu@cbr.mlit.go.jp

一質問項目一

以下の質問にお答え下さい。

Q1 興味のある記事は? (複数回答可)

- 1 平成17年度天竜川ダム統合管理事務所事業概要
- 2 事業の紹介 [水環境改善による流れの復活]
- 3 ダムの施設 [ダム放流警報装置]
- 4 近隣市町村等紹介コーナー [長野県企業局]
- 5 こんな人知ってる? [村松理兵衛]
- 6 近隣の美術館・博物館巡り [棕 鳩十記念館・図書館]
- 7 ーロメモ [第3話 風と潮]
- 8 川の交通安全標識
- 9 その他

Q2 小渋ダム通信をどこでお知りになりましたか?

- 1 小渋ダムインフォメーションセンター
- 2 学校 3 役場 4 市民会館、公民館
- 5 図書館 6 その他

Q3 当所の広報室(インフォメーションセンター)の「地元展示コーナー」をご存知ですか?

- 1 知っている 2 知らない
- 3 展示をしてみたいので詳細を知りたい
- 4 その他

回答はこちらへ↓

3 9 9 - 3 8 0 1

料金受取人払



差出有効期限

平成17年6月
30日まで
【切手不要】

長野県上伊那郡中川村大草
6884-19

国土交通省中部地方整備局
天竜川ダム統合管理事務所内

小渋ダム通信 編集部 行

●お名前
ペンネーム (希望の方のみ)

●ご住所 〒□□□ □□□□ □

TEL () -

●年齢 歳 ●性別 男 ・ 女

●ご職業

「小渋ダム通信 Vol. 5」読者アンケート 回答用紙

●上記の質問に該当する数字を記入して下さい。

Q1 番号()
上記番号を選んだ理由
()

Q2 番号() その他()

Q3 番号() その他()

●ご意見・ご要望などご自由にお書き下さい。

Large empty rounded rectangle for writing comments.

●クロスワードパズルの答え

A B C D
□ □ □ □ ム ラ

ご協力ありがとうございました。

※皆さんからのご意見は、本紙や当事務所のホームページで紹介させていただくことがあります。その際は、名前(名字のみ)と住所(市町村名)を紹介させていただきます。
※お便りの内容や個人情報、他の用途には使用致しません。